

会長挨拶

グローバル会計学会会長

菊谷 正人

第7回研究大会は名古屋大学東山キャンパス（準備委員長：仙場胡丹准教授）において令和6年9月19日（土）・20日（日）に開催された。

9月19日（土）には、午後4時から学会賞審査委員会、午後5時から1時間ほど理事会が開かれ、その後、キャンパス内のレストラン「シェ・ジロー」で懇親会が催され、フランス料理を堪能することができた。

20日（日）には、午後12時から午後5時40分まで対面式で研究大会が挙行され、初めての試みとして統一論題「グローバル会計研究の現状と課題」を設定し、3名による報告と活発な質疑討論が行われた。さらに、記念講演を石井 明会員、招待講演を日本公認会計士協会東海会の高島達郎氏に依頼し、リース会計の歴史・改正基準について講演して頂いた。自由論題としては、いつもより少ない2名による報告・質疑討論が行われることとなったが、建設的な質問による活発な質疑応答が展開された。

その後、意見交換会・懇談会が豊田講堂ユニバーサルクラブで催され、旧交を温めることができた。

第7回研究大会においても、昨年に続き、若い研究者の研究奨励のための「学会奨励賞」を輩出することができた。学会賞とは別に学会奨励賞を設けたことによって、若い研究者の研究の励みになることができるならば、会長として幸甚である。